

みのかも市報

49年

3 月号

No. 177

人口の動き

2月1日現在
 総人口 36,690人
 男 18,144人
 女 18,546人
 (昨年同月 +444)
 世帯数 9,212戸
 (昨年同月 +286)
 住民登録人口より



お母さんありがとう

一年生になります

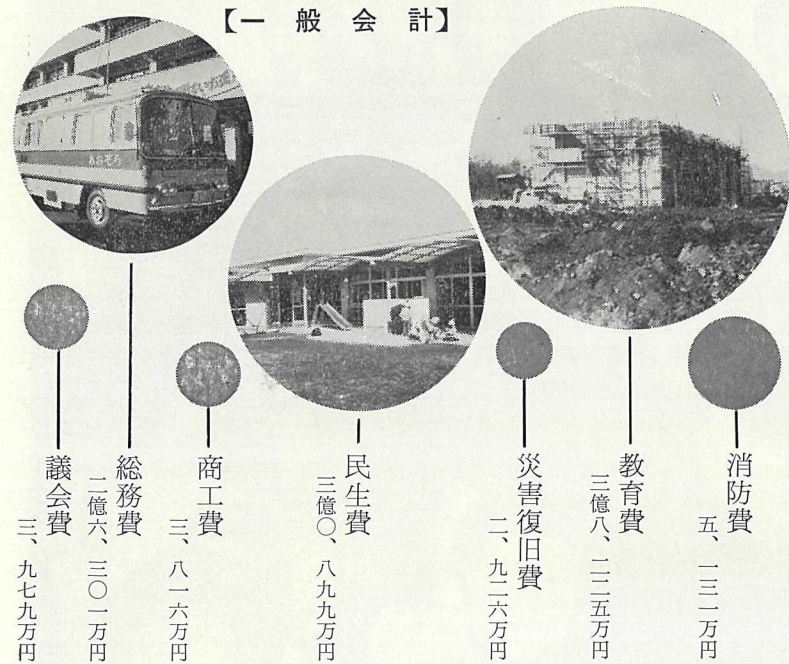
(新入学を祝う会にて)

としておくとべんりです。

昭和47年度決算概要 家計簿

歳入=17億1,595万8千円

【一般会計】



みますと、歳入では地方交付税と市税が全体の約六〇％を占め、歳出では教育費、土木費、民生費の順で全体の約六〇％になり、なかでも民生費は昭和四十六年度と比較して四六・二％の伸び率を示し福祉の向上や老人医療をはじめとする社会福祉事業などが重点的に行なわれました。

教育・土木・民生費に六〇パーセント

教育費 三億八、二二五万円
土木費 二、九二六万円
民生費 三億〇、八九九万円
商工費 三、八八六万円
総務費 一億六、三〇一万円
議会費 三、九七九万円

住みよい町づくり	豊かな町づくり
道路・橋りょうの維持と新設に..... 1億4,564万円	老人福祉など社会福祉に..... 7,869万円
都市下水路、公園など..... 1億5,907万円	国民年金に..... 5,733万円
都市計画事業に..... 100万円	保育所建設など児童福祉に..... 4,306万円
市営住宅の維持管理に..... 3,824万円	その他児童福祉に..... 1億2,959万円
その他土木管理に..... 1億1,814万円	災害救助に..... 32万円
ほ場整備事業など農業振興に..... 748万円	予防注射など保健衛生に..... 1,766万円
里山開発など林業振興に..... 2,926万円	ゴミ処理など清掃のために..... 3,702万円
農林・土木施設など災害復旧に.....	消化栓の設置費などに..... 691万円

お知らせ

お気軽にどうぞ 青年文化講座へ

若いみなさんが共に話し合い学ぶ青年文化講座が、今月十日と十六日に開かれます。

内容は、若者にとって関心の深い「愛」についてをはじめ、激動する社会情勢や現代青年の生き方を学ぶもの、楽しいレクリエーションもあって、これからの生き方に参考になり役立つことと思います。

お気軽に参加して下さい。

第一回：三月十日（日） 中濃体育館 午前九時～午後五時

（内容）映画「二人だけの出発」講話「現代に生きる青年のあり方」「社会不安と日本経済」全体討議 分散会 レクリエーション

第二回：三月十六日（土） 青少年センター 午後七時三十分～午後九時三十分

（内容）講話「冠婚葬祭のマナーと青年」 質疑討論

お知らせ

青年文化講座へ

若いみなさんが共に話し合い学ぶ青年文化講座が、今月十日と十六日に開かれます。

内容は、若者にとって関心の深い「愛」についてをはじめ、激動する社会情勢や現代青年の生き方を学ぶもの、楽しいレクリエーションもあって、これからの生き方に参考になり役立つことと思います。

お気軽に参加して下さい。

第一回：三月十日（日） 中濃体育館 午前九時～午後五時

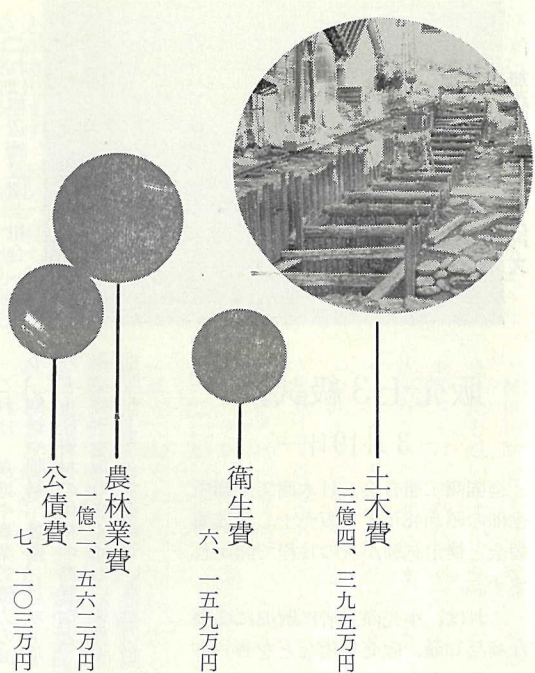
（内容）映画「二人だけの出発」講話「現代に生きる青年のあり方」「社会不安と日本経済」全体討議 分散会 レクリエーション

第二回：三月十六日（土） 青少年センター 午後七時三十分～午後九時三十分

（内容）講話「冠婚葬祭のマナーと青年」 質疑討論

お知らせ 市の

歳入=17億9,003万8千円



一般会計項目別の歳入決算額	
地方交付税.....	5億4,103万円 (30.2%)
市税.....	5億1,389万円 (28.7%)
市債.....	1億9,670万円 (11.0%)
国庫支出金.....	1億6,970万円 (9.5%)
諸収入.....	1億1,098万円 (6.2%)
県支出金.....	7,494万円 (4.2%)
使用料及び手数料.....	3,955万円 (2.2%)
繰越金.....	3,731万円 (2.1%)
分担金及び負担金.....	2,908万円 (1.6%)
財産収入.....	2,856万円 (1.6%)
自動車取得税交付金.....	2,595万円 (1.4%)
地方譲与税.....	1,389万円 (0.8%)
交通安全対策特別交付金.....	342万円 (0.2%)
繰入金.....	322万円 (0.2%)
寄付金.....	182万円 (0.1%)



くらしを守るため	人づくりのため
議会の運営に..... 3,979万円	市立新設小用地費や小学校の維持管理に..... 1億2,631万円
交通安全や公害対策に..... 590万円	西中プール用地費や中学校の維持管理に..... 4,201万円
市役所の経費に..... 2億5,711万円	成人教育など社会教育に..... 2,170万円
消防力の強化に..... 5,131万円	市営グラウンドの整備など保健体育に..... 1億6,755万円
商工業の振興に..... 3,816万円	その他教育の運営に..... 2,468万円
起債の返済に..... 7,203万円	

- ### お知らせ

▽古井地区 新池：所秀明 下組：渡辺初昭 中組：渡辺秀行 相生一：間宮悟 相生二：三品郁郎 相生三：大矢千尋 京町：渡辺正貴 田畑西：鈴木孝男 田畑東：福住幸男 朝日：加藤慶之助 末広：多田吉宏 寿：
- ### 体育委員

（四十九年一月）
▽太田町 深田一：小栗歳一 深田二：三品春義 下町一：豊吉哲郎 下町二：林吉弘 下町三：伊佐治栄三 下町五：中村鏖 下町六：林義哉 中町一：山口正雄 中町二：林仙一 若宮一：西村義博 若宮二：林勇 若宮三：渡辺常男 中町三：清水高雄 上町：石黒龍弘 上本町：龍山大耕 音羽町：嶺川勝利 栄町：福住春光 桜新町：奥村守助 港町：島尻鐸男 元町：加藤晴男 八坂町：棚橋正治 銀座：松田統平 波之上：林武彦 東本町：林隆幸 旭町：並河重雄 万場町：山田定雄 弥生町：小川喜一 官舎：片桐澄夫 北一東：今井昇 北一中：後藤健治 北一西：玉置雅典 北二：林光秋 北三：池庭典男 北新町：飯田雅之 大縄手：鈴木安太郎 西町東：中島明男 西町西：伊藤道久 西町中：清水松男 西町北：阿部鋭一 西町南：加藤明男 前平：三浦昭平 境松：田口一三



一年生の授業風景(太田小学校)

もうすぐ新入学

あいさつの言える子に

花だよりと
もに新入学のシ
ーズンがやって
来ました。
今年市内では
六百十一人(太
田:百八十一・
古井:二百二十
九・山之上:二
十八・蜂屋:四
十二・加茂野:
四十四・伊深:
十五・三和:十
二・下米田:六
十)のかわいい
一年生が誕生し
ます。
新入学児童の
みえる家庭では
四月の入学期を間近にひかえ、な
にかと心づかいをされていること
でしょう。
そこで「入学前の心がまえ」を
まとめてみました。
・「靴下はどこに脱いだの、ハン
カチは」と母親がさわがなくても
自分で準備ができる指導や、それ
らが整理できるコーナー・置場は
できましたか。また、朝起きて顔
を洗ったり歯をみがいたり、用便
がひとりでする生活習慣は身に
つきましたか。
・学校では落し物がずいぶんあり
ますが、落しても取りに来ないこ
とがあります。自分の持ち物には
必ず名前をつけ、他人の物と間違
わないようにするとともに、物を
大切にすることを身につけよう。



みんなの税金

(問) 家を新築しましたが、
不動産取得税は、どのようにし
て課税されますか。
(答) この税金は県税です。
標準税率は取得した不動産の
価格の三割となっています。
不動産の価格は市役所に備え
つけられている固定資産課税台
帳に登録されている場合には、

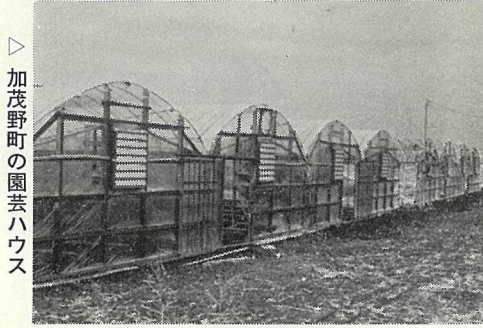
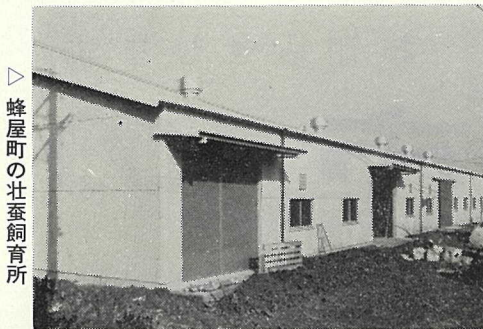
(土地) 十万円未満
新増築 二十万円未満
(家屋) 十二万円未満
売買

この価格により、固定資
産税課税台帳に登録されてい
ないときは、固定資産評価基準
によって県知事がその価格を決定
することになっています。
なお、住宅を新築したり、建
売新築住宅を購入した場合に
その価格から一戸について二百
三十万円が控除されます。住
宅を新築するために土地を購入
した場合も一定の条件の下に税
の軽減が認められています。
また、不動産の価格が次の場
合には不動産取得税は課税され
ません。

・健康診断(入学前)の結果が連絡
されたと思いますが、健康でない
お子さんは、専門医に見てもらい
丈夫なからだで登校しましょう。
・「行ってきました」「ただいま」
「おはようございます」「ハイ」
と元気よく答えられることや「あ
りがとう」「どうぞ」「ごめんな
さい」というような言葉が使える
ようにしましょう。
・教えておくことよいことは、ひら
がなで自分の名前が書け、数も一
から十までの程度が数えられるこ
と。また、両親の名前や住所を聞
かれることがありますから言える
ようにしましょう。
・通学路は学校で決められていま
す。お母さんと一緒に、子どもを
先にして数回歩き、その子の判断
をよく見ながら指導して下さい。
また、危険と思われる個所の歩
き方は、特に気をつけしっかりと身
につくよう教えましょう。
・入学当初は、よく見、よく聞き
よく話すという活発な行動をと
るという学習が主になります。学校
から帰ると、こうした学校での生
活をよく話してくれそうですので、快
よく聞き子どもの学校での生活を
理解しはげまして下さい。

お知らせ

井戸好水 栄町:武市征一 栄
東:大矢光政 本町:飯田実
元町下:小栗作平 元町上:早
川良平 大牧:佐藤利勝 川合
東一:白木健二 川合東二:渡
辺克己 川合東三:渡辺勝正
川合東四:松本政信 川合西一
:渡辺鶴 川合西二:後藤保良
川合西三:渡辺清夫 川合西四
:渡辺成幸 宮西一:門井武
宮西二:渡辺敏美 宮西三:林
義男 宮西四:座馬桂 宮西五
:戸田喜代男 清水:堀部吉彦
野笹:藤木富明 マコド:村上
誠一 教職員住宅:鈴村慎吾
上畑:志田善三郎 島:田口参
次 西島一:日比野克良 西島
二:加藤定敏 西島三:長谷川
邦雄 大東一:鹿野真美 大
東二:河村雅男 大東西一:
水野秀雄 大東西二:伊藤二郎
神明東:岸恒久 神明西一:渡
辺舜作 神明西二:西田時夫
神明西三:墳原靖男 中央新町
:富田勝美
▽山之上町 本地:酒向博道
佐口:安田昭司 上野:加藤茂
中之番:酒向栄司 金谷:大野
櫻 西洞:浅野憲政 南坂:佐
口功治 田畑:酒向金治 五徳
福田政美
▽蜂屋町 上野:酒向桂 下
則友:春見晃 加瀬田:日江洋
二 島之洞:大竹賢士 広橋:
酒向逞 引田:坂井秀夫 矢田
川合裕
▽加茂野町 東今泉:小原康勝
西今泉:石井宗詮 鷹之巣:高
井辰夫 市橋:助川兼行 稲辺
:間宮文樹 加茂野:武田昌三
本野:木村徳雄 駅前:交告勇
日立アパート:鈴木和夫 中電
アパート:加藤猛
▽三和町 上甘屋:莊加勝美
中甘屋:柴田益夫 下甘屋:天
池勉 下川浦:酒向純爾 日西
洞:酒向幸男 平古市:平林真
清 中川浦:朝日登 水市:江
口政男 納治:平野盈
▽伊深町 上本郷:渡辺晋也
下本郷:村井修 関也:堀畑松
男 上切:木下康夫 堀畑松
大洞:大矢鈴雄 糠洞:伊藤稔
野地原:小林章
▽下米田町 則光:杉山康夫
信友:酒向紀輝 山本:石井邦
男 為岡:佐々木孝文 東板井
:酒向徳彦 橋上:加納達雄 桜
貝戸:渡辺齊 中屋敷:森範夫
深渡:玉木二夫 長福:渡辺義
臣 共栄:佐合秀樹 共和:大
谷義雄 共進:渡辺寿 今:安
田弘 新興:小川輝孝 中西:
奥村幸雄 中牧野:井平匠 下
東:浅野和臣 下西:日置昭二



蜂屋町の壮蚕飼育所

加茂野町の園芸ハウス

町野茂加 農業

農業生産の団地化進む

実現した大規模経営

近代農業経営をめざし、現在市
内の蜂屋町と加茂野町で、大規模
な農業用施設の建設が行われてい
ます。
一つは蜂屋町引田に建てられて
いる壮蚕飼育所(七百二十平方
尺)で引田養蚕共同利用組合(代
表坂井幸彦さん)が、国の補助事
業である養蚕主産地集団営農推進
事業の適用を受け、総事業費約二
千万円で建設しているものです。

森田満さん)が、県の
補助事業である銘柄産
地育成事業の適用を受
けて、総事業費千二百
万円で建設しているも
ので、トマトやキュウ
リの促成栽培を行なう
ことになっています。
この二つは、どちらも市内では
最も規模の大きい農業生産施設で
養蚕農家、施設園芸農家をはじめ
多くの農家から、その成果に大
きな期待が寄せられています。
このように数戸の農家が任意の
組合をつくって大規模な機械施設
を導入し経営規模を拡大しようと
する例が、最近ではよく見られる
ようになっています。
これは、農地や農業労働力の減
少、飼料や肥料、農薬、ビニール
など生産資材の価格の高騰など、
農業経営を取りまく厳しい条件を
克服しようとする新しい農家の動
きです。
つまり、共同購入によって生産
資材を安く買い入れ、多額の資金
を要する高性能機械施設を共同出
資によって取り入れて生産を合理
化しようとするものです。
国や県では、これを農業生産の
団地化と呼んでこれからの農業振
興政策の基本方針とし、全国各地
でも農業生産団地の育成に力が注
がれています。
市でもこの方針に基づき、高龍
率生産団地整備計画という農業生
産団地育成の基本構想を樹立し、
地区別にその地に多い生産物を取
り上げて高率な補助事業を適用し
生産の合理化をはかっています。
蜂屋町と加茂野町の二つの施設
は、その先がけとなり立派な生産
団地として定着し、他の農家のモ
デルとなって、これからの美濃加
茂市の農業を近代化へ導くこと
でしょう。

販売士3級試験

— 3月19日 —

全国商工連合会、日本商工会議所
主催の昭和48年度「販売士」養成講
習会と検定試験が次の日程で開かれ
ます。

これは、小売商業者に販売に必要な
商品知識、販売技術などを修得させ、
誇りをもって消費者サービスにつ
とめる人づくりがねらいです。

・講習 3月8日・12日・14日・16日
18日、午前9時30分～
・場所 加茂郡市養蚕販売農業協同
組合連合会(蚕糸センター)
・受講料 4,000円
・試験日 3月19日 受験料1,400円
・申込先 市商工会事務局
詳しくは市商工会(06187)へお
尋ね下さい。

お知らせ

井戸好水 栄町:武市征一 栄
東:大矢光政 本町:飯田実
元町下:小栗作平 元町上:早
川良平 大牧:佐藤利勝 川合
東一:白木健二 川合東二:渡
辺克己 川合東三:渡辺勝正
川合東四:松本政信 川合西一
:渡辺鶴 川合西二:後藤保良
川合西三:渡辺清夫 川合西四
:渡辺成幸 宮西一:門井武
宮西二:渡辺敏美 宮西三:林
義男 宮西四:座馬桂 宮西五
:戸田喜代男 清水:堀部吉彦
野笹:藤木富明 マコド:村上
誠一 教職員住宅:鈴村慎吾
上畑:志田善三郎 島:田口参
次 西島一:日比野克良 西島
二:加藤定敏 西島三:長谷川
邦雄 大東一:鹿野真美 大
東二:河村雅男 大東西一:
水野秀雄 大東西二:伊藤二郎
神明東:岸恒久 神明西一:渡
辺舜作 神明西二:西田時夫
神明西三:墳原靖男 中央新町
:富田勝美
▽山之上町 本地:酒向博道
佐口:安田昭司 上野:加藤茂
中之番:酒向栄司 金谷:大野
櫻 西洞:浅野憲政 南坂:佐
口功治 田畑:酒向金治 五徳
福田政美
▽蜂屋町 上野:酒向桂 下
則友:春見晃 加瀬田:日江洋
二 島之洞:大竹賢士 広橋:
酒向逞 引田:坂井秀夫 矢田
川合裕
▽加茂野町 東今泉:小原康勝
西今泉:石井宗詮 鷹之巣:高
井辰夫 市橋:助川兼行 稲辺
:間宮文樹 加茂野:武田昌三
本野:木村徳雄 駅前:交告勇
日立アパート:鈴木和夫 中電
アパート:加藤猛
▽三和町 上甘屋:莊加勝美
中甘屋:柴田益夫 下甘屋:天
池勉 下川浦:酒向純爾 日西
洞:酒向幸男 平古市:平林真
清 中川浦:朝日登 水市:江
口政男 納治:平野盈
▽伊深町 上本郷:渡辺晋也
下本郷:村井修 関也:堀畑松
男 上切:木下康夫 堀畑松
大洞:大矢鈴雄 糠洞:伊藤稔
野地原:小林章
▽下米田町 則光:杉山康夫
信友:酒向紀輝 山本:石井邦
男 為岡:佐々木孝文 東板井
:酒向徳彦 橋上:加納達雄 桜
貝戸:渡辺齊 中屋敷:森範夫
深渡:玉木二夫 長福:渡辺義
臣 共栄:佐合秀樹 共和:大
谷義雄 共進:渡辺寿 今:安
田弘 新興:小川輝孝 中西:
奥村幸雄 中牧野:井平匠 下
東:浅野和臣 下西:日置昭二



我が国十年後の自給率の目標
(国際化に対応した農業問題懇
談会、農業・農村整備近代化に
関する提言)は、米・芋・
野菜・鶏肉・卵が二〇〇割
豚肉八五割、牛乳・乳製品
八〇割、牛肉六〇割、麦類
一五割、大豆二割となつ

清流

農業に生涯を

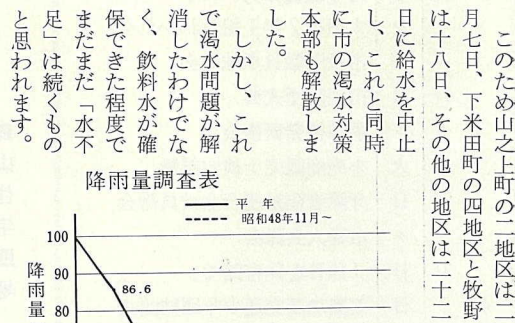
下米田町 川 合 晴 敏

万鈔の農地転用論もある。
このようななかで、近い将来に
自給自足の時代が来るのではない
だろうか。
その時になって農政に力を注い
でも手遅れの感じがする。

深刻化した 給水車二台を出動

昨年十月から
続いた記録的な
晴天は、市内各
地に「水不足」
という深刻な問
題を生じさせた。
市内で最も水
が不足した地域
は、山之上町の
金谷、田畑、下
米田町の今、信
友、小山、新興
牧野、蜂屋町下
西の八地区と太
田町、古井地区

の一部で、給水作業を開始した一
月十六日から二月二十二日までの
間に、延べ千六百四十世帯(一日最高
給水世帯五百四十四)総給水量約七十
トンにも及びました。
こうしたなかで市は、一月十九
日給水対策本部を設置、計画的な
給水体制に入るとともに、関市か
ら給水タンクを借用して、一月
十六日の金谷地区をはじめ市内の
渇水地区に、二台の給水車による
配水活動を行ってきましたが、昨
年から年平均を大きく下まわって
いた市内の降雨量は、二月に入っ
て年平均の四九・七を越す五四・
五を記録しました。



「節約」が強く叫ばれている今日、
私たちはこの経験を生かし日常生
活での節水に心がけよう。



〔給水延べ世帯数〕 金谷三百二
十三、田畑三百十二、牧野四百四
十八、今・新興百八十九、小山二十
八、信友二十二、下西二十、その
他十八(写真) 金谷での給水作業

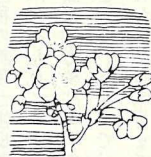
お知らせ

市民と市長の面談日

3月26日(火)
午前9時~12時

21日 春分の日
25日 太田、山之上小卒業式
26日 古井、蜂屋、加茂野、伊
深、三和、下米田小卒業式
31日 官庁会計年度末

三月の古名は「弥生」と書い
て「やよい」と読みました。
春の若草が勢いよく成長して
「いよいよ茂る」様子をいつた
ものです。
もちろん旧暦ですから、春も
さかりで「花見月」とか「桜月」
とも呼ばれていました。



広報メモ

昔と今

(22)

江戸時代からの 村方永録帳

市内加茂野町の木野地区は、
市制施行前は加茂野村木野であ
り、明治三十年四月、加茂野村
となるまでは木野村といってい
ました。

この木野地区に、江戸時代か
らの村の出来事が記録されてい
る「村方永録帳」が大切に保存
され、今なお自治会長さんによ
り第二巻が書かれています。

写真が「村方永録帳」の一ペ
ージで、この第一巻には天保十
年(一八三九年)から昭和三十
八年までの百二十余年にわたる
村の歩みが記録され、村民の喜
びや悲しみが一目でわかるよう
になっています。

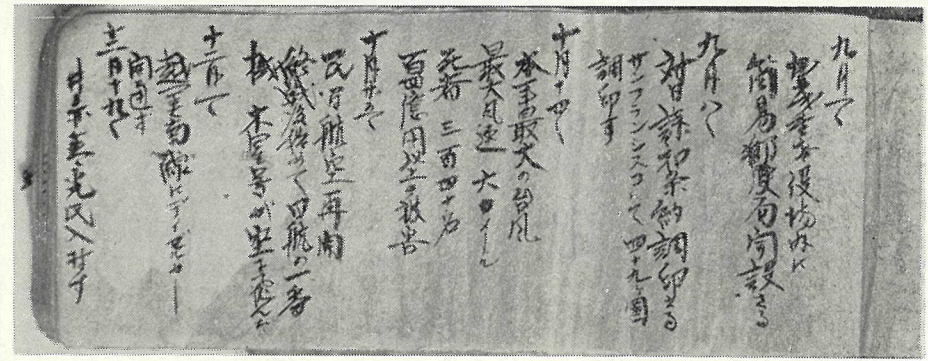
永録帳は、百十枚ぐらいの美
濃紙から成り、縦三六・三センチ、横
一三・五センチのもので、江戸時代
は村の庄屋、明治以後は戸長、
村長、区長、現在では自治会長
と記録者が受け継がれ、村の役
員、行事内容、工事概要など書
き込んであります。

時代を追って主なものを見ま
すと、江戸末期には年貢の取り

立てがたいへん厳しくなり、農家
の夜逃げが多くなったこと、この
ため残った人たちが逃げた人の年
貢を分担し納めたことなどが書か
れ、明治に入ると、五年の美
濃国が岐阜県に統合されたこと
と、二十三年の第一回衆議院
議員選挙、翌年の「濃尾大震
災」など、国内の重大なニュー
スから、三十年の加茂野村
の発足などきめ細かに書かれ
ています。

大正時代には、ラジオ放送
が開始された十四年、木野地
区に初めて電気がひけ、区中
が大喜びしたことが記録され
昭和に入ると、十六年から十
年間には第二次世界大戦のため
空白となっていますが、戦前
では世界的な経済不況、失業
者が続出したこと、米価の暴
落など暗い内容の記事や十二
年以降は出征兵士のみの戦時
一色に塗られ、戦後は厳しい
生活と混乱の記事が続きます
が、二十九年の市制施行を機
に明るい話題も多くなってい
ます。

この第一巻は、昭和三十八
年の渡辺栄一氏の衆議院当選
岸東八郎氏の市長就任をもつ
て終り、百二十余年に及ぶ村
の歩みが記録されています。



新しい田園都市へ

美濃加茂市の未来像を考える

「美濃加茂市の未
来像を考える」中
日シンポジウムが
一月二十二日、産
業文化会館で約二
百五十人の市民が
参加して開かれま
した。

これは、美濃加
茂市が交通の便、
自然環境、立地条
件に恵まれている
にもかかわらず
市制施行以来、わ
ずかの人口増にと
どまり、近く木曾
川右岸用水事業の完成、国道四一
号名濃バイパスの実現など市民
生活や経済社会が大きく変わろうと
しているなかで、当市が発展のた
めの転換期にきているのではない
か」と話し合ったものです。

基本計画の軌道修正

このなかで指摘されたものの一
つに、市の「総合計画」の修正が
あります。

市は昭和四十四年にマスタープ
ランを作成、六十年までの計画を
立て市政を進めてきました。

しかし、これに関連したなか
に、最近では新しい条件がかなり
出てきており、五十二年完成予定
の木曾川右岸用水事業と農業との
関係、国道バイパスの開通による

現在の国道との結びつき、これに
伴う市街地改造などが、大きな課
題となっています。
これは、市が今まで歩んできた
大都市指向型から地域の拠点都市
への転換期とも考えられ、その方
向が重視されてきました。

農林業を再検討

また、農林業の見直しも指摘さ
れています。
市は、以前から「豊かな田園都
市」をめざしてきましたが、専業
農家の減少などもあって、市民と
の結びつきは薄く、ほ場整備など
の完成も各地で見られるようにな
った現在、この問題が大きくクロ
ーズアップされてきました。

また、市内十数カ所にある農業
の研究施設との結びつきも薄く、
今後は「市民農業公園構想」を立
て、木曾川右岸用水の水とともに
「新しい田園都市」へ飛躍が望ま
れます。

市民の声を生かして

このような計画修正には、市民
の声が必要となり、地区ぐるみの
協力が市全体に反映することが望
ましく、新しい地区活動の重要性
が再認識されました。
また、駅前広場を含む市街地改
造は、市民の声を生かすことが望
まれ、第二の都市づくりは「市民
の声」によるといわれます。

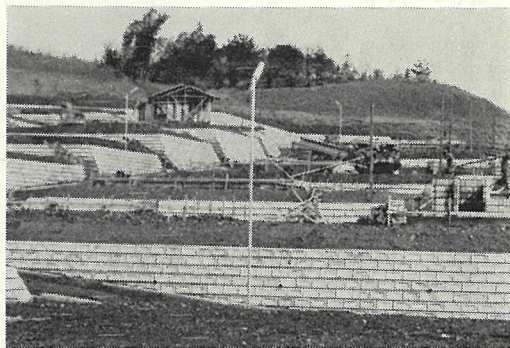
山
地
森
住
宅
団
地

一次入居は五月の予定

ただいま二〇戸を募集中

岐阜県住宅供給公社では、市内森山町三丁目地内に建設中の森山住宅団地の入居者募集を、昨年三月と十一月の二回行なってきたが、今月五日から二十日までの間、第三次として十戸（一年積立一戸・二年積立九戸）の入居者を募集します。

この住宅団地は、最近深刻となつた住宅問題を解消しようと、昭和四十七年の十一月から造成工事が始まつたもので、昨年十二月にはその工事もあり、現在では五月入居予定の一年積立二十五戸の



今年三月に二百三万円、五月と八月に百万円、十二月に十万円、二百三十一万円は住宅金融公庫から融資されます。

受付は市都市計画課で行ないます。

家が建ちはじめた
森山住宅団地

中濃体育館だより



月	日	曜	行	事
3	2	土	木曽川右岸流域下水事業説明会	
3	3	日	太田小4年PTAスポーツ会	
5	4	火	県青年団文化のつどい	
7	5	木	納税相談（7・8・11・12日）	
9	6	土	危険物保安監督者講習会	
10	7	日	スポーツ活動発表会	
14	11	木	太田桜新町子供会スポーツ会	
16	13	土	太田小2年2組PTAスポーツ会	
17	14	日	青年学級文化講座	
19	16	火	宮西4自治会スポーツ会	
24	21	土	太田小2年4組スポーツ会	
31	28	日	太田小1年1組PTAスポーツ会	
4	7	日	日立職員体力テスト	
			太田小2年1組おわかれ会	
			市役所職員卓球大会	
			市消防団式典	
			選挙啓発研修会	
			小売商販売士検定試験	
			身障者福祉連合会役員総会	
			市婦人会総会	
			「休日を体育館で」	
			美濃加茂交通少年団結団式	

今月の在宅医

診療時間 午前9時～午後4時
10日 日江井

外科（古井）⑤二六二四

17日 西田医院（森山）⑤二七八一

24日 渡辺医院（森山）⑤二七〇三

31日 交告医院（森山）⑤二七二二

4月

7日 黒岩内科（太田）⑥〇五二五

14日 太田病院（太田）⑥一二五一

21日 渡辺

産婦人科（太田）⑤二六二五

今月の妊婦学級

14日・28日 中央公民館

1時～4時

成人病相談

15日 加茂野連絡所

9時～11時

19日 下米田地区

9時～3時

4月の育児相談

5日 中央公民館

1時～3時

心配ごと相談

毎週木曜日

1時～4時

中央公民館 秘密厳守

巡回相談 山之上連絡所（11日）

結婚相談

毎週土曜日 産業文化会館

午後1時～4時 秘密厳守

今月の

三種混合予防接種

1月、2月に実施しました、三種混合予防接種の3回目が見えていない方は、次の日程で、必ず接種して下さい。

・日時 3月27日

1時30分～2時

・場所 産業文化会館

種痘（ほうそう）

2歳以上で種痘（ほうそう）のまだすんでいない方に、今月、副作用を少なくする薬を併用し、次の日程で接種を実施します。

・日時 3月14日 2時～

・場所 木沢病院

献血を実施

・日時 3月13日 12時～3時

・場所 市役所玄関前

四月に変更

固定資産台帳の縦覧

固定資産税の課税台帳縦覧は、例年三月に行なわれていたが現在、国会で地方税法の一部改正案が審議されていますので、今年四月十日から四月末日まで（予定）に変更します。

したがって、固定資産税の第一期分の納税も五月になります。